

2024年10月19日

競技者、監督、コーチ、保護者及び  
福岡陸上競技協会審判員各位

(一財)福岡陸上競技協会

## シューズルールの周知徹底について (シューズ規定の変更(移行措置期間の終了)について)

金風の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より、当協会へのご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、標記の件につきましては、ルールブックのTR5.2 競技用靴 及び「競技用靴に関する規定」(別紙3)におきまして、各種目ごとのソールの最大厚さ規定が示されております。この規定には、移行措置期間が設けられておりましたが、その期間が終了し、**2024年11月1日から完全適用**となります。

関係の皆様におかれましては、シーズン途中での変更となりますので、以下の点にご留意の上、競技会・大会への出場および競技運営を行っていただきますよう、お願いいたします。

### 記

#### 1 関係ルールについて

##### ・競技用靴

TR 5.2 競技者が競技する時は、裸足でも競技用靴を履いてもよい。競技者はカウンセルによって承認された競技用靴に関する全ての規則を遵守しなければならない。

[競技用靴に関する規定]靴底の最大の厚さ(購入時から装着されているオリジナルのインナーソールを含む)は、2024年11月1日からは以下の通りとする。

#### 2 適用シューズのチェック方法

(1)WA(世界陸連)の以下のサイトから、シューズリストを参照。(※随時更新 最新リストを確認すること。)

<https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>



(2)各メーカーによる情報(各メーカーのWEBサイトや販売店で情報提供されている)を確認。

#### 3 対応のポイント

(1) 競技者、監督、コーチ、保護者の方

・レース用シューズ(スパイク)の新規購入の際は、各自で必ず上記ルールを確認してください。

(2) 審判員の方

・大会本部や招集所等に最新のリストをプリントアウトして準備する、WAウェブサイトを閲覧できる環境を整えるなどして、適切に対応できるようにしてください。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、本規程10.3および10.4に記載のとおり、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない(前足の中心は、靴の内部の長さの75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの12%にある靴の中心点)。
道路競技 (競走・競歩)	40mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
クロスカントリー	20mm スパイクシューズ または 40mmノン・スパイクシューズ	競技者はスパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ(ロードシューズなど)を履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは20mmを超えてはならない。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。
マウンテンレースと トレイルレース	制限なし	